

編集委員から

益 巖

いま、「りんごの木」ではアレサ・フランクリンの「アメイジング・グレイス」という曲を良く歌っているとのこと。
私もこのアレサ・フランクリンの「アメイジング・グレイス」という映画を見に行きました。アレサが教会で二日間にわたって行ったライブが映画になったものでした。

この映画はライブが行われた直後には技術的な問題で映画として上映できなかったとのこと。でも今年その技術的な問題が解消されて映画として見られるようになったとのことでした。アレサ・フランクリンさんはすでに亡くなっていますが、そのライブが生き生きとしたものとして見られるようになったのは素晴らしい経験でした。

私は、1982年から一年間、ニューヨークの地で学ぶ経験をすることができました。
わずか一年という中であまり話すこと、聞くことの十分な準備もなくニューヨークに行き学ぶことになったので、大変なストレスを経験していました。

そのような時にニューヨークからハドソン川を渡ったところのジャージーシティにある黒人教会の礼拝に出席していました。そこでは日本から来た英語も良く分からないものを暖かく迎えてくれ、心の底から深い感動を覚えていました。そこでの礼拝も礼拝の始まる前から床を踏み鳴らし、体全体から賛美をする様子に震えるような思いを感じていました。黒人の方たちのルーツからの厳しい環境から生まれたソウルミュージックが他の苦しみを負う人たちの苦しみを癒していく力を持っていることを教えられました。

私たちの苦しみの経験はその時はつらいものですが、やがて他の方々の苦しみを負っている人々の癒になり事もあるのだと思います。